



ぶらり社南～種池編～



② 坪川信一翁頌徳碑

坪川信一氏は足羽郡種池村で生まれ、福井師範学校を卒業後、教員、福井県会議員などをつとめられた。1928(昭和3)年7月6日に、福井県で初めての百貨店・だるまやを創業。県商工会議所連合会会頭として商工会に貢献される一方、郷土を愛し種池にも幾多の功績を残されたので、昭和27年に種池町民一同が頌徳碑を建てた。揮毫は、時の内閣総理大臣・吉田茂である。



⑦ つばき児童館



⑥ 治水記念館

日野川と江端川の合流点に設置されている江端川排水機場の改築に伴い、昭和12年に完成した。当時東洋一を誇る排水ポンプの存在価値を後世に残すため建設された。旧排水ポンプ1基を保存し、記念館を訪れた人たちが自然と文明の調和の大切さを感じるとともに、それを支えている治水行政の重要性を認識してもらう場として、治水・利水の歴史、重要性を広く市民にPRしている。



④ 社南公民館



⑨ 虎塚(石塔)

凝灰岩製の五輪塔(地輪2個、水輪1個、風空輪1個)の五輪塔。蓮台の上に小蓮弁にて荘厳した月輪を置き、月輪内には胎藏界大日如来の種子アークを力強く刷毛書きし、薬研彫りをしている。蓮台の花弁は古様を呈し、小蓮弁も丁寧に彫られ、梵字の面からも14世紀を下らぬ頃の造立と推定される。大磯の虎の塚。「虎」というのは曾我十郎祐成の愛人で虎女とも虎御前ともいい、相模国大磯に住んでいた遊女。虎塚とか虎が石という遺跡は全国至る所に残されており、福井県だけでも、その伝承は十数か所に及ぶ。



⑩ 坪川バラ園(坪川達男氏)

バラを栽培するのが難しい福井では唯一のバラ農家。(ここで技術習得を終えた女性が3年前からバラ農家を始めている)バラづくりを始めて46年。福井農林高校在学中、実習で受け入れてくれた方の「人生の中でバラづくりほど手ごわいものはない」ということを聞き、「どうせ人生かけてやるんだったら、誰にも真似できない技術を習得しよう!」と思ったのがバラづくりになったきっかけ。自然災害とは切り離せないこの仕事、もうこれで終わりか、と何度も思った。毎年、同じことが出来る幸せを実感している。バラづくりを通して、何か人のためにできるのではないかと、思って活動してきた。まだまだ見落としていることをこれからも探っていきたい。



10

③ 種池公民館

種池自治会が管理。毎月1回、役員会を開催。館内には、「県営高生産性大区画圃場整備事業(低コスト)社江守地区」着工前(昭和22年)と完成後(平成5年)の状況写真が飾ってある。また坪川信三氏の写真と直筆書も飾ってある。



坪川信三氏

福井師範学校卒。小学校訓導となり、北京大使館に外向して日本居留民の教育に従事する。昭和21年福井県から衆院議員に当選、以後5期連続当選。この間、郵政政務次官、通産常任委員長などを歴任。34年-38年まで福井市長をつとめられ、その後再度衆院議員となり、5期当選。建設大臣、予算委員会委員長、総理府総務長官、沖縄開発庁長官などを歴任した。

① 遊悠文庫

大正時代の建築様式。坪川信一の生家であり、以前は、大きな庭園を見ながら静かに読書のできる文庫として、またギャラリーとして芸術家の方々の作品を展示したり、様々な催しも開催され、多くの方の交流場所にもなっていた。



⑤ 社保育園



⑧ 用水

江守中(江守用水)から流れてきた水が、二手に分かれて流れていくポイント。(湖方面と新種池町方面)

